

## 感染症拡大防止対策チェックシート

●感染症成立の三大要因（病原体、宿主の感受性、感染経路）別に対策をあげましたので、チェックしてみましょう！

<b>病原体</b> (排泄物、嘔吐物、血液、体液等)	<b>宿主の感受性</b> (健康管理)	<b>感染経路</b> (経口感染、飛沫感染、接触感染、空気感染等)
<input type="checkbox"/> 嘔吐物の適切な処理 <input type="checkbox"/> オムツ交換の適切な処理 <input type="checkbox"/> 汚染された衣類の適切な処理 <input type="checkbox"/> 有症状者には受診勧奨 <input type="checkbox"/> 家庭での嘔吐物処理等の周知	<input type="checkbox"/> 健康管理の徹底 <input type="checkbox"/> 予防接種状況把握 <input type="checkbox"/> 未接種者の接種勧奨 <input type="checkbox"/> 予防内服の実施（必要時）	<input type="checkbox"/> スタンダードプリコーション（標準予防策）の徹底 <input type="checkbox"/> 手洗いの徹底 <input type="checkbox"/> 手袋の着用 <input type="checkbox"/> マスクの着用 <input type="checkbox"/> エプロンの着用 <input type="checkbox"/> 適切な消毒方法 <input type="checkbox"/> 有症状者の隔離 <input type="checkbox"/> スタッフの固定 <input type="checkbox"/> 面会者の制限 <input type="checkbox"/> 咳エチケットの周知、徹底 <input type="checkbox"/> 換気、適度な温度、適度な湿度 <input type="checkbox"/> 感染症流行の注意喚起

## チェックシートの詳細

### ○嘔吐物の適切な処理

南加賀保健福祉センターホームページに掲載 <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/minamikaga/toppage/kensui/noro.html>

嘔吐物処理方法、消毒薬の作り方、汚染された衣類の取り扱い方について

### ○健康管理の徹底

感染症をもらわない、うつさない。睡眠・栄養・休養をとり自己管理を行う。

利用者や職員の発熱・咳・下痢・嘔吐等の症状を把握する。1例目を見逃さない。有症状者には早めの受診勧奨。

### ○予防接種状況把握

麻疹・風疹、インフルエンザ等の予防接種状況把握と未接種者への接種勧奨。

### ○予防内服の実施（必要時）

病院、施設等においてインフルエンザ患者と接触した方（同室者や職員等）は、必要があれば医師と相談の上、予防内服を実施。

### ○スタンダードプリコーション（標準予防策）

血液、体液、分泌液、排泄物、創傷皮膚、粘膜などは、感染する危険性があるものとして取り扱わなければならない。

マスク・エプロン・手袋等の個人防護具を必要に応じて用いる。

### ○手洗いの徹底

手洗いは液体石けんと流水でしっかり洗う。施設出入り時、食事前、トイレの後、ケアの前後等、1ケア1手洗いを徹底する。

手拭きタオルの共用をしない。ペーパータオルの使用が望ましい。

### ○適切な消毒方法

消毒液の種類や濃度を確認し、感染症流行時にはトイレや洗面台・ドアノブ・カラン等よく手が触れる箇所を1日複数回消毒する。

### ○スタッフの固定

感染症発生時には有症状者を担当する職員を固定する。

### ○面会者の制限

病院、施設、学校、保育所等は感染症流行時には見舞い客等の施設内の出入りを制限する。

### ○咳エチケット

咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れて行う。咳やくしゃみの後は手洗いをする。

症状のある方は、周囲の方へうつさないためにマスクを着用する。

### ○感染症流行の注意喚起

病院、施設、学校、保育所等は外部に対して施設内での感染症流行を掲示し注意喚起する。